

# 月山姥ガ岳山行報告

日時：2019年12月22日(日)

メンバー：ちば山 池田継 福島登高会：リーダー Kさん、以下12名 合計13名

コースタイム：飯坂温泉5時-白石市駐車場6時-志津8時-姥沢10:00 リフト下駅10:15-リフト上駅11:00 姥ガ岳11:45-紫灯森13:00-リフト下駅14:20-志津15:00

行動データ：累計高度1240m、移動距離14.5km、行動時間7時間

天候：薄曇りから気持ちの良い月山ブルー



今シーズンはお仕事の関係で11月より福島に来ている。福島と言えば福島登高会のシマである。早速Kさんに連絡を入れてどこか連れて行ってくださいとお願いしたところ、今シーズンは雪不足で月山しか行くところが無い状態とのこと。今回で今月3度目の月山だという。千葉県民としては月山に行けるのであれば御の字である。しかも今回の交通費2400円で激安！（駐車場代もリフト代も無し）



多くて名前よく分かりません



ショートカットはかなりの傾斜

自分は月山のリフトが動いている時期しか来たことがないので、無雪期から4月までの月山がどのような状態

なのかな分らなかった。今回来てみると志津からリフト下まで延々歩かなくてはならないことが分かったが車道をショートカットするので傾斜もなかなかのものである。今回リフト上駅が11時着なので3時間ほど余計に歩くことになる。肘折ツアーの時はぜひリフトが動いていて欲しいものである。



雪が少ないとはいえ、リフトのワイヤーに手が届くのが月山の凄いところ

月山の天気と言えば風が強いイメージがあるが、暖冬の影響かほぼ無風の薄曇りである。今回は総勢13名の大所帯のため、各自のペースで姥ガ岳を登る。しかし相変わらず福島登高会のペースは速い。必死に付いていく。この速さが無ければ、月山肘折ワンデイは到底成し遂げられないであろうから彼らの大きな武器である。



姥ガ岳頂上からは天気がドンドン良くなり厳冬期の月山としては望外の景色である。ここから気持ちよく1本滑走する。雪質はまずまずのパウダーで板の動きも軽い。



降りたところで昼食とし、食後は月山と姥ガ岳の間にある紫灯森(さいとうもり)へ登る。頑張って登るが 67 歳のモンスターK さんにドンドン離されていく。(しかも K さん風邪気味で調子が悪かったらしい)



山頂から広い月山の斜面が美しい。気持ちよくドロップし各自がシュプールを刻んでゆく。雪不足の中、ここは本当に雪が多いことを実感したが、リフトより下はまるで重たい春スキーの様な雪質で難儀した。その後は道路をゆっくり下り、志津に戻り、道の駅にしかわの温泉につかり福島へ戻った。



